

## 会 議 録

会議名称	令和4年度 第1回座間市子ども・子育て会議		
日時	令和4年8月9日（火） 10時～11時30分		
場所	サニープレイス3階 多目的室		
出席委員	麻生委員、阿部委員、大下委員、小澤委員、小多喜委員、高松委員、内藤委員、畑中委員、飛田委員、松本委員、湯川委員		
事務局	子ども未来部長、子ども政策課、子ども育成課、保育課、青少年課、健康づくり課		
会議の公開可否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴者数	2人
次第	<div>○委嘱式</div> <div>1 委嘱状交付</div> <div>2 市長あいさつ</div> <div>○開会</div> <div>1 委員紹介（自己紹介）</div> <div>2 会長・副会長の選出</div> <div>3 諮問</div> <div>4 議題</div> <div>(1) 座間市子ども・子育て会議について</div> <div>(2) 座間市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について</div> <div>ア 令和3年度事業の評価報告について</div> <div>イ 新・放課後子ども総合プランに基づく取組の評価報告について</div> <div>ウ 地域子ども・子育て支援事業の評価報告について</div> <div>(3) 第2期子ども・子育て支援事業計画中間見直しについて</div> <div>(4) その他</div> <div>○閉会</div>		
配布資料	<div>・資料1 座間市子ども・子育て会議について</div> <div>・資料2－1 第2期座間市子ども・子育て支援事業計画 令和3年度事業 評価報告書</div> <div>・資料2－2 第2期座間市子ども・子育て支援事業計画 令和3年度事業 評価のまとめ</div> <div>・資料3 新・放課後子ども総合プランに基づく取組の評価報告書</div> <div>・資料4 地域子ども・子育て支援事業の評価報告書</div> <div>・資料5 第2期子ども子育て支援事業計画中間見直しについて</div> <div>・資料6 （仮称）保育ルームフェリーチェ相武台園の概要</div>		
<div>○委嘱式</div> <div>1 「委嘱状交付」</div> <div>佐藤市長が新委員11名へ委嘱状を交付した（残り3名には後日交付した）。</div> <div>※任期：令和6年7月31日まで</div> <div>2 「市長あいさつ」</div>			

佐藤市長より新委員へ挨拶を申し上げた。

## ○開会

子ども子育て会議委員 14 名中 11 名が出席し、座間市子ども・子育て会議規則第 5 条第 2 項により会議が成立

### 1 「委員紹介（自己紹介）」

委員、事務局の自己紹介

### 2 「会長、副会長の選出」

委員の互選によって会長に大下聖治委員、副会長に飛田昭委員が就任

### 3 「諮問」

座間市子ども子育て会議規則第 2 条により、子ども未来部長から大下会長へ諮問書を代読

### 4 「議題」

資料を確認後、座間市子ども・子育て会議規則第 5 条第 1 項により大下会長が議事を進行

#### (1) 座間市子ども・子育て会議について

## ○事務局（子ども政策課）

本審議会の目的、概要等を資料 1 に基づき説明。

#### (2) 座間市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

ア 令和 3 年度事業の評価報告について

## ○事務局（子ども政策課）

第 2 期座間市子ども・子育て支援事業計画 令和 3 年度事業について、資料 2－2 に基づき説明。

## ○委員

達成度の評価基準について聞きたい

## ○事務局（子ども政策課）

それぞれの課で達成度を計画の 0 %、49 %以下、79 %以下、99 %以下、100 %以上で評価しており、達成度が低い順に E，D，C，B，A となっている。

## ○委員

NO. 17 民生委員児童委員による相談・支援について、なぜ評価 B なのか。

## ○事務局（子ども政策課）

担当課が福祉長寿課になるため、後日確認する。

⇒福祉長寿課より回答

委員会活動等が休止状態であり、また令和 2 年度も B 評価としていることから A 判定とする根拠がな

かったため。活動内容自体はコメントのとおり活動が制限される中、感染予防に留意しながら、多大なる貢献をいただいているものと認識しております。

○委員

1（1）について達成度Aが2つ、Cが2つだが、達成度に市民の声は反映されているのか。

○事務局（保育課）

実績値に対して担当課で判断して達成度を判定している。

なお、公立保育園の民営化等の対策を取っているものの、待機児童数の解消がされないことから達成度Cとしている。

○委員

待機児童数 59 人は希望する園に入れなかった人たちの数値か、どの保育園にも入れなかった人たちの数値か。また、今後の対策はどのように考えがあるのか。

○事務局（保育課）

希望する園に入れなかった人たちのうち、国の定義に基づいた数値である。また、今後は既存の施設や保育園を活用しながら待機児童を解消したいと考えている。

○委員

保育人材の確保について、どのように対策するのか。

○事務局（保育課）

保育士の待遇改善については国が主導で行うものという認識だが、保育士確保のための補助金を利用しながら確保に努めたい。

○委員

一時預かり事業について、座間市の一時預かり事業を利用できなかった経験があるが、保育課は達成度A、子ども育成課は達成度Dになっているのはなぜか。

○事務局（保育課）

一時預かり事業を実施する施設を増やしているところからA評価としているが、コロナ禍の需要増には対応しきれていないところはあると感じている。

○委員

厚木市など他市では当日利用できる一時保育事業を実施しているところもある。座間市でも実施してほしい。

○事務局（保育課）

意見として承る。

○事務局（子ども育成課）

ファミリー・サポート事業をD評価としたのは、コロナ禍で送迎など外での援助は可能だが、一時預かりは遠慮したいという協力会員が多く、実績が低くなったためである。

○委員

保育園のハード面の整備が進んでいることに比べて0～2歳児の保育定員が少なく預け先を探すのが大変なことについてどう考えているか。また、潜在保育士の間口を広げるためにも市の保育士の正規採用年齢を引き上げられないか。

○事務局（保育課）

保育士を確保できないことから定員を増やすことができない。保育士を確保し定員増を目指したい。また、採用年齢の引き上げについては総務部に伝えておく。

○委員

保育士の資格を持たない方を保育補助として採用することにより保育士不足の解消や保育士の負担軽減することができると考えるが市では検討しているか。

○事務局（保育課）

子育て支援員研修を受講した者を採用し、延長保育等に対応している民間保育園があることは把握しているが、公立保育園については採用していないが、意見として受け止める。

イ 新・放課後子ども総合プランに基づく取組の評価報告について

○事務局（青少年課）

新・放課後子ども総合プランに基づく取組の評価報告について資料3に基づき説明。

○委員

方針にすでにあるが、活動回数の増加について期待する。

また、大和市の放課後寺子屋のような事業実施について検討してほしい。

○事務局（青少年課）

活動回数を増やすことについて学校と打ち合わせを重ねているが、前向きに検討している。

ウ 地域子ども・子育て支援事業の評価報告について

○事務局（各課担当者）

地域子ども・子育て支援事業の評価報告について資料4に基づき説明。

○委員

病児保育（病後児保育）について、令和5年度に新規開設とあるが、もう少し詳しく知りたい。

○事務局（保育課）

県央福祉会の運営する緑ヶ丘保育園の一室に病児保育室を設けて事業を行う。

○委員

ファミリー・サポート事業について、利用する理由は子どもの送迎等に限られるのか。また、認知度が低いように思うが、子育て支援センターや保育園で利用を勧めるようにしてはどうか。

○事務局（子ども育成課）

利用理由は代表的なものを申し上げたが、様々な理由で利用できる。また、周知について今年度初めて児童ホームを利用する保護者700名ほどに周知した。今後も周知の場を設けていきたい。

○委員

学童保育の定員は足りているのか。また、近隣市と比べて整備は進んでいるのか。

○事務局（子ども育成課）

4月時点で学童に入所希望したものの入所できず待っている人がいる。また、近隣市に比べて児童の数に比べて定員数が少ない傾向にある。

○委員

公園で保育者が子どもに手をあげている場面を目撃したことがあった。座間市役所のどこに相談すればよいか。

○事務局（子ども政策課）

児童虐待を発見するためには地域の目が必要なので、座間市子ども政策課や児童相談所に気軽に相談してほしい。また、要保護児童対策地域協議会を立ち上げ関係機関と共に市内の児童虐待に目を光らせている。

(3) 第2期子ども子育て支援事業計画中間見直しについて

○事務局（子ども政策課）

第2期子ども子育て支援事業計画中間見直しについて資料5に基づき説明。

(4) その他

○事務局（保育課）

(仮称) 保育ルームフェリーチェ相武台園の概要について資料6に基づき説明。

○会長

その他に意見、質問がなければ、本日予定していた議事は終了とする。

○閉会

○事務局（子ども政策課）

今回の会議は、令和4年12月13日（火）開催する。

議題は「教育・保育の利用定員について」他を予定している。